事業番号

51

平成239						年行政事業レビューシート			労働省)			
事	業名	小児科・産科連携病院等協力体制促進事業			担当部	局庁		医政局			作成責任者	
	開始 - アンドラ ・ アンドラ ・ アンドラ ・ アンドラ ・ アンドラ ・ アン・チェー ・ アン・チェー ・ アン・ディング ・ アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	平成19年度~22年度			担当記	果室	指導課 救急・	指導課 救急・周産期医療等対策室			: 佐久間 敦	
会記	計区分	一般会計				名	Ⅳ-1-1 地域の医療連携体制を構築する					
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)	-				計画.  等	小児科	•産科連携病院				
(目排簡潔に	の <b>目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)			化・重点化に伴う小 :配置による地域の			§機能の移転を推進 を図る。	することにより、/	∖児科・産系	半におけ	ける限られた医	
(5行	<b>業概要</b> テ程度以 削添可)	以 I										
実加	<b>拖方法</b>	□直接実施		美務委託等 	■補助		□貸付	口その他	]その他			
				20年度	21年度		22年度	23年	度	2	4年度要求	
		→	初予算	259	64		6					
又.4	<b>算額・</b> <b>(行額</b> ∷百万円)	算 補の 掘	正予算									
執		■状   繰越し等										
(単位		況計		259	64		6					
		執行	<b>ラ額</b>									
		執行率(%)		0.0%	0.0%		0.0%	0.0%				
- 計用 :	コ 4帯 でんっぐ	成果指標				単位	20年度	21年度	22年	度	目標値 (年度)	
成身	目標及び 果実績	執行実績無し			成果実績							
(アウ	トカム)				 達成度	%						
		 ■ 活動指標				単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見込	
	旨標及び				12.51.5.75							
活動   (アウ	<b>助実績</b> トプット)				活動実績						_	
					(当初見込み)				(	)	( )	
単位当たり コスト			算出根拠									
平成23・24年度	費 目 23年度当初予算 24年度要求					Ė	Eな増減理由					
予算内訳												
訳		計			-							

事業所管部局による点検								
	評価	項目	特記事項					
目的	×	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。						
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。	執行実績が無いことから必ずしも広く二一ズがあったと は言えない。					
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。						
<b>資</b>	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の流	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
一の流れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。						
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
•	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか						
美績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
点検 検結果 病床削減を前提とした産科・小児科の集約は困難であり、執行実績が見込まれないことから、22年度限りで事業を廃止。								
予算監視・効率化チームの所見								
		_						
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)					
_								
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)								
		補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってし	いる場合はその結果も記載)					

		支出額なし	
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)			

では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額		
費目・使途 (「資金の流れ」 クごとに最大され クごとに表出されて記載が者に記載をでまする。要方で実情が分割で実情が分割でまた。ように記載)			(白力円)	, , ,	区 歴	金額(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対ではいる者ではいる者ではないででででででででででででででででででででででででできない。 は、これでは、これでではないででででできない。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対ではいる者ではいる者ではないででででででででででででででででででででででででできない。 は、これでは、これでではないででででできない。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで								
費目・使途 (「資金の流れ」 クごとに最大されているをいる者で表がる者にもいる。 で記載をある。 で実情が分かるように記載)								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対ではいる者ではいる者ではないででででででででででででででででででででででででできない。 は、これでは、これでではないででででできない。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対ではいる者ではいる者ではないででででででででででででででででででででででででできない。 は、これでは、これでではないででででできない。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対でで表がる者にでいるでででででででででででででででででででででででででででででででででで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対でで表がる者にでいるでででででででででででででででででででででででででででででででででで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対でで表がる者にでいるでででででででででででででででででででででででででででででででででで								
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対でで表がる者にでいるでででででででででででででででででででででででででででででででででで	計		0	計		0		
費目・使途 (「資金の流れ」 において最大さいで表対ではいる者ではいる者ではないででででででででででででででででででででででででできない。 は、これでは、これでではないででででできない。 は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		B.			F.			
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
			(117311)			(11/3/1)/		
	計		0	 計		0		
	C.			G.				
	費目	使 途	金額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		
			(17311)			(日7311)		
	計		0	計		0		
	D.			H.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			( ) ( )			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	計		0	計		0		
	÷1			€1.				

## 支出先上位10者リスト A.

<u>A.</u>					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					